
片思い

水谷 美佐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

片思い

【Nコード】

N6406B

【作者名】

水谷 美佐

【あらすじ】

中学二年生の『私』が違うクラスの翔に思いを抱いているが、なかなかそれに気づくことができない・・・

(前書き)

登場人物

私・・・中学2年生。

翔・・・『私』とは違うクラス。一応卓球部。

相原・・・『私』と同じクラス。卓球部のエースでチャームポイント
トは黒縁メガネ。

3月とはいえ、さすがに夕方は冷える。

私は部活が終わり、駐輪場にいた。

すると翔がスロープを降りていくのを見た。

「おい、翔待てよ!!」

同じクラスの相原が彼の後について行く。

(今日は寄り道せずには帰るって決めたもんね!!)

私は自転車に乗ると家へとまっすぐ向かった。

そのままいつもの公園を通り過ぎた。

すると・・・

途中の狭い交差点で突然翔とぶつかりそうになったので

急ブレーキをかけた。

「わあっ!ビックリした・・・」

「あっゴメン。」

そう言うと翔はすぐに行ってしまった。

しばらくして相原がやってきた。

「小谷、翔見なかった？」

「……………」

私は黙ったまま口を開こうとしない。

そのまま、自転車から降りて押し始めた。

「大丈夫か？」

「なんか最近の翔、変だよ。私が話しかけても、無関心だし、

部活の時だって。何かあったのかな？」

すると相原はくすつと笑った。

「お前、アイツのこと好きなんだろ。」

「えっ？」

「そうじゃなかったら、部活の時にアイツのことずっと見てたり、廊下ですれちがったときに顔が真っ赤になったりしないだろう。」

「…………そうかもしれないね。でも、

自分でも本当に好きなのかわからないよ。」

「そのうち分かるようになるさ。」

下り坂を降りたところで相川が言った。

もう日はすっかり暮れていてあたりは闇に包まれていた。

「じゃあ、俺、こっちだから。」

「うん。また明日ね。」

そういつて私は再び自転車に乗ると左に曲がり、坂を一気に上りはじめた。

『今はまだ分からないけれども、今はただ、アイツをみていたい。』

それだけで十分なんだから。

(後書き)

男の子キャラはサッカーとか野球部に入ってる、スポーツ万能！
って子じゃなくて、暗くはないけどおとなしくて実はやさしいって
感じを出したかったので卓球部にしてみました。
たぶん、相原君は彼女に気があるかもね(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6406b/>

片思い

2011年2月3日03時04分発行